

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション

コード番号 8119 URL <http://www.sanveicorp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林敬幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 小平敏之

TEL 03-3847-3500

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	20,132	7.6	131	6.2	177	23.6	64	△86.2
26年3月期第2四半期	18,714	17.0	124	△64.0	143	△65.7	472	185.4

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 275百万円 (△63.8%) 26年3月期第2四半期 763百万円 (330.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	27.68	26.93
26年3月期第2四半期	202.11	196.12

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	18,403	8,952	48.0	3,760.37
26年3月期	17,412	8,759	49.7	3,690.75

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 8,830百万円 26年3月期 8,658百万円

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	40.00	—
27年3月期	—	40.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	90.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。平成26年3月期第2四半期末につきましては、株式併合前の配当金の額を記載しております。なお、当該株式併合後の株数を算定の基礎とした場合の平成26年3月期第2四半期末の配当金の額は50円であり年間配当金は90円となります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	0.3	830	109.0	780	60.8	500	9.1	212.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	2,552,946 株	26年3月期	2,552,946 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	204,583 株	26年3月期	206,903 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	2,347,598 株	26年3月期2Q	2,336,406 株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の個人消費の落ち込みが大方の予想の範囲内に留まり、円安地合定着を背景とした輸出企業の採算改善や雇用環境の好転など、概ね回復基調を辿りました。しかしながら、新興国経済の減速やウクライナ・中東などの地政学的リスクが不安定要因として継続する中、個人消費の持ち直しが予想以上に鈍くなっており、景気の腰折れが懸念される不透明な状況となっています。

こうした状況下、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、各報告セグメントで売上げが増加したことにより、連結売上高は前年同期比7.6%増加の201億3千2百万円となりました。

利益面につきましては、円安等により売上総利益率が24.7%と前年同期比1.1ポイント低下したものの、売上高の増加により、売上総利益は1億2千8百万円増加の49億6千4百万円となりました。営業利益につきましては、連結子会社の販管費支出が抑制されたことを受けて、販管費が前年同期比1億2千1百万円の増加に留まったことから、同7百万円増加の1億3千1百万円となりました。経常利益は、第2四半期末レート引き直し等による為替差益の計上を主因に、前年同期比3千3百万円増加の1億7千7百万円となりました。なお、前年同期は比較的大きな特別利益を計上しましたが、当期は特筆すべき特別損益はなく、四半期純利益につきましては、前年同期比4億7百万円減少の6千4百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### (家具・家庭用品事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比0.2%増加の100億5千6百万円となりました。OEM事業では、欧米向けキッチン・クッキング用品の売上げが大型特需の剥げ落ちに前年同期比大きく減少しましたが、国内では、リビング家具の売上げが堅調に推移したほか、携帯端末商材の売上げも増加しました。ブランド事業においては、独「WMF」「Silite」ブランド製品等を扱うヴェーエムエフジャパンコンシューマーズ㈱の売上げが前年同期比で増加しました。

セグメント利益については、OEM事業において、売上総利益率が低下したことに加え、販売費も増加したことから、1億1千万円の赤字となりました。

#### (服飾雑貨事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比17.4%増加の60億2千6百万円となりました。OEM事業では、国内向けのトラベル商材の売上げが好調に推移し、また、中国向けの売上げも大幅に増加しました。ブランド事業においては、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」がネット通販の売上増もあり堅調に推移したほか、「キプリング」事業を営む販売子会社㈱L&Sコーポレーションも順調に売上げを伸ばしました。

セグメント利益については、売上高の増加を主因に、前年同期比41.8%増加の3億2千5百万円となりました。

#### (家電事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比32.5%増加の24億9千5百万円となりました。OEM事業では、小物生活家電の売上げが国内外共に好調に推移しました。また、抜本的な事業改革に目処をつけた三發電器製造廠有限公司の売上高回復も当セグメントの売上増に寄与しました。ブランド事業においては、販売子会社㈱mhエンタープライズの売上げが、引き続き「マイボトルブレンダー」等の調理家電が好調に推移したこともあり、順調に積み上がりました。

セグメント利益については、三發電器製造廠有限公司の黒字化を主因として前年同期比1億3千6百万円増加の7千万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億9千1百万円増加の184億3百万円となりました。

主な資産の変動は、「現金及び預金」が3億1千2百万円減少した一方、「受取手形及び売掛金」「商品及び製品」がそれぞれ3億1千5百万円、8億4千3百万円増加しております。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が3億8千万円、「短期借入金」が4億4千3百万円、それぞれ増加しております。

主な純資産の変動は、「その他有価証券評価差額金」が1億9千4百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は48.0%、1株当たり純資産は3,760円37銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想については、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,006,219	1,693,969
受取手形及び売掛金	4,952,268	5,267,963
有価証券	—	10,799
商品及び製品	4,181,395	5,025,063
仕掛品	50,427	57,748
原材料及び貯蔵品	158,229	136,705
繰延税金資産	164,333	124,150
前渡金	244,261	287,506
前払費用	117,794	103,321
短期貸付金	1,160	522
その他	559,074	517,515
貸倒引当金	△4,116	△9,607
流動資産合計	12,431,047	13,215,658
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,365,837	1,338,666
機械装置及び運搬具（純額）	158,177	132,973
工具、器具及び備品（純額）	148,419	135,554
土地	821,654	821,654
リース資産（純額）	39,686	35,666
建設仮勘定	19,414	13,972
有形固定資産合計	2,553,189	2,478,487
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	309	—
その他	346,019	311,353
無形固定資産合計	346,328	311,353
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,547,066	1,844,963
長期貸付金	16,486	15,593
繰延税金資産	44,378	41,780
破産更生債権等	971	971
その他	524,594	546,066
貸倒引当金	△52,056	△51,671
投資その他の資産合計	2,081,441	2,397,705
固定資産合計	4,980,959	5,187,546
資産合計	17,412,006	18,403,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,222,367	1,603,304
短期借入金	3,338,554	3,781,632
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	—
リース債務	8,364	8,442
未払法人税等	270,324	123,820
繰延税金負債	4,078	—
賞与引当金	342,002	285,132
役員賞与引当金	21,417	11,951
未払金	1,053,327	1,070,367
未払費用	333,664	318,257
未払消費税等	84,234	35,144
その他	262,212	404,164
流動負債合計	7,940,549	7,642,217
固定負債		
長期借入金	200,000	1,200,000
リース債務	31,646	29,007
繰延税金負債	155,362	252,245
再評価に係る繰延税金負債	81,890	81,890
退職給付に係る負債	149,648	153,403
役員退職慰労引当金	33,745	24,470
資産除去債務	50,262	57,599
その他	9,600	9,600
固定負債合計	712,155	1,808,218
負債合計	8,652,705	9,450,435
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	645,678	646,640
利益剰余金	6,938,289	6,897,286
自己株式	△271,039	△268,069
株主資本合計	8,313,842	8,276,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,337	563,066
繰延ヘッジ損益	58,157	133,201
土地再評価差額金	64,639	64,639
為替換算調整勘定	△146,314	△206,954
その他の包括利益累計額合計	344,819	553,952
新株予約権	90,061	107,834
少数株主持分	10,577	14,209
純資産合計	8,759,301	8,952,769
負債純資産合計	17,412,006	18,403,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,714,329	20,132,865
売上原価	13,878,267	15,167,940
売上総利益	4,836,061	4,964,924
販売費及び一般管理費		
販売費	996,449	1,109,006
一般管理費	3,715,474	3,724,137
販売費及び一般管理費合計	4,711,923	4,833,144
営業利益	124,137	131,780
営業外収益		
受取利息	2,382	4,246
受取配当金	13,559	15,971
為替差益	—	37,584
持分法による投資利益	25,705	—
その他	8,799	14,675
営業外収益合計	50,447	72,478
営業外費用		
支払利息	26,876	25,454
為替差損	2,111	—
その他	1,853	1,178
営業外費用合計	30,841	26,633
経常利益	143,743	177,626
特別利益		
固定資産売却益	—	187
関係会社株式売却益	670,051	—
その他	104	—
特別利益合計	670,156	187
特別損失		
固定資産除却損	7,993	7,831
賃貸借契約解約損	24,532	—
減損損失	—	73
関係会社整理損	28,384	—
その他	1,895	1,059
特別損失合計	62,806	8,964
税金等調整前四半期純利益	751,093	168,849
法人税、住民税及び事業税	242,997	128,061
法人税等調整額	43,851	△26,052
法人税等合計	286,848	102,009
少数株主損益調整前四半期純利益	464,244	66,840
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,969	1,863
四半期純利益	472,213	64,977



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464,244	66,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,783	194,728
繰延ヘッジ損益	△36,784	75,044
為替換算調整勘定	250,826	△60,640
その他の包括利益合計	298,825	209,132
四半期包括利益	763,070	275,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750,879	274,109
少数株主に係る四半期包括利益	12,190	1,863

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	751,093	168,849
減価償却費	148,447	165,465
減損損失	—	73
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,372	5,198
株式報酬費用	19,578	21,879
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△61,838	△52,094
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,932	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△3,183
のれん償却額	1,251	15,088
受取利息及び受取配当金	△15,941	△20,218
持分法による投資損益 (△は益)	△60,784	—
支払利息	26,876	25,454
固定資産除却損	7,993	7,831
固定資産売却損益 (△は益)	—	△187
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,791	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△670,051	203
関係会社整理損	28,384	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,245,191	△249,312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△823,807	△855,084
仕入債務の増減額 (△は減少)	△352,035	405,776
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,712	△75,768
その他	△121,025	193,751
小計	1,109,106	△246,277
利息及び配当金の受取額	15,941	20,218
利息の支払額	△27,125	△25,079
法人税等の支払額	△228,653	△270,884
営業活動によるキャッシュ・フロー	869,269	△522,023
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△157,904	△70,565
有形固定資産の売却による収入	1,039	439
無形固定資産の取得による支出	△35,081	△6,612
投資有価証券の取得による支出	△64,646	△7,628
投資有価証券の売却による収入	36,197	—
子会社株式の取得による支出	△198,445	—
貸付けによる支出	△164	—
貸付金の回収による収入	834	1,309
関係会社株式の売却による収入	1,096,693	1,565
その他	△6,722	△10,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	671,798	△92,422
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,403,680	457,450
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,000,000
自己株式の取得による支出	△1,106	△176
自己株式の売却による収入	429	2
配当金の支払額	△115,814	△93,841
その他	△9,047	△4,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,529,218	358,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	99,091	△31,814
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	110,941	△287,371
現金及び現金同等物の期首残高	2,391,872	2,006,219
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△24,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,502,813	1,693,969

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,038,569	5,135,868	1,883,666	17,058,104	1,656,224	18,714,329	—	18,714,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,585	1,436	7,020	14,042	59,512	73,555	△73,555	—
計	10,044,155	5,137,304	1,890,686	17,072,147	1,715,737	18,787,884	△73,555	18,714,329
セグメント利益又は 損失(△)	48,833	229,244	△65,987	212,090	△5,577	206,513	△82,375	124,137

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,375千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,056,513	6,026,964	2,495,257	18,578,734	1,554,130	20,132,865	—	20,132,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,546	9,451	5,675	28,673	54,914	83,588	△83,588	—
計	10,070,059	6,036,416	2,500,932	18,607,408	1,609,045	20,216,453	△83,588	20,132,865
セグメント利益又は 損失(△)	△110,867	325,067	70,318	284,518	△17,165	267,352	△135,571	131,780

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,571千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。